

## 7 利用者負担金

このサービスを利用するにあたって、あなたにご負担していただく利用者負担金は、下記のとおりです。

### 1) 利用者負担金（訪問看護費）

提供時間	利用者負担金 (1割)	利用者負担金 (2割)	利用者負担金 (3割)
30分未満	471円	942円	1,413円
30分以上1時間未満	823円	1,646円	2,469円
1時間以上1時間30分未満	1,128円	2,256円	3,384円
早朝（午前6時～午前8時まで）	所定単位の100分の25の加算の1割	所定単位の100分の25の加算の2割	所定単位の100分の25の加算の3割
夜間（午後6時～午後10時まで）	所定単位の100分の50の加算の1割	所定単位の100分の50の加算の2割	所定単位の100分の50の加算の3割
深夜（午後10時～午前6時まで）	所定単位の100分の50の加算の1割	所定単位の100分の50の加算の2割	所定単位の100分の50の加算の3割

### （介護予防訪問看護費）

提供時間	利用者負担金 (1割)	利用者負担金 (2割)	利用者負担金 (3割)
30分未満	451円	902円	1,353円
30分以上1時間未満	794円	1,588円	2,382円
1時間以上1時間30分未満	1,090円	2,180円	3,270円
早朝（午前6時～午前8時まで）	所定単位の100分の25の加算の1割	所定単位の100分の25の加算の2割	所定単位の100分の25の加算の3割
夜間（午後6時～午後10時まで）	所定単位の100分の50の加算の1割	所定単位の100分の50の加算の2割	所定単位の100分の50の加算の3割
深夜（午後10時～午前6時まで）	所定単位の100分の50の加算の1割	所定単位の100分の50の加算の2割	所定単位の100分の50の加算の3割

### 2) 特別管理加算

あなたが厚生労働大臣の定める特別な管理を必要と

する状態にある場合、1か月当たり 別紙のとおりの加算があります。

3) 長時間訪問加算

特別管理加算の算定のある方は、1時間30分以上の看護を実施した場合・・・

300円加算（1割の方）
600円加算（2割の方）
900円加算（3割の方）

4) 複数名訪問加算

利用者の状態により、一人の看護師では訪問が困難であったり、暴力行為、著しい迷惑行為、器物破損などが認められる状況や、その他の利用者の状況から判断し、同時に複数の看護師が利用者または家族の同意を得て、訪問看護を行った場合・・・

1割の方

254円加算（30分未満の場合）

402円加算（30分以上の場合）

2割の方

508円加算（30分未満の場合）

804円加算（30分以上の場合）

3割の方

762円加算（30分未満の場合）

1,206円加算（30分以上の場合）

5) 退院時共同指導加算

病院、診療所又は介護保健施設に入院中若しくは入所中の者に対して、主治医と連携して在宅生活における必要な指導を行い、その内容を文書により提供した場合、退院又は退所後の初回の訪問の際に1回（特別な管理を要する者2回）に限り算定します。

600円加算（1割の方）

1,200円加算（2割の方）

1,800円加算（3割の方）

## 6 ) 初回加算

新規に訪問看護計画書を作成した利用者に対して、初回の訪問看護を行った月に算定します。

### 初回加算 I (退院当日)

350円（1割の方）

700円（2割の方）

1,050円（3割の方）

### 初回加算 II (退院翌日以降)

300円（1割の方）

600円（2割の方）

900円（3割の方）

\* 退院時共同指導を算定する場合は算定しません。

## 別 紙 1

令和元年 10 月 1 日 現在

### 【特別管理加算】

(区分支給限度基準額の算定対象外となります)

特別な管理を要する利用者（別に厚生労働大臣が定める状態にあるもの）に対して、計画的な管理を行った場合に算定します。

#### 特別管理加算（I）

ひと月 500 円（1割の方） 1,000 円（2割の方） 1,500 円（3割の方）

- ① 在宅悪性腫瘍患者指導管理を受けている状態
- ② 在宅気管切開患者指導管理を受けている状態
- ③ 気管カニューレを使用している状態
- ④ 留置カテーテルを使用している状態

#### 特別管理加算（II）

ひと月 250 円（1割の方） 500 円（2割の方） 750 円（3割の方）

在宅自己腹膜灌流指導管理、在宅血液透析指導管理、在宅酸素療法指導管理、在宅中心静脈栄養法指導管理、在宅成分栄養経管栄養法指導管理、在宅自己導尿指導管理、在宅人工呼吸指導管理、在宅持続陽圧呼吸療法指導管理、在宅自己疼痛管理指導管理または在宅肺高血圧症指導管理を受けている状態。

人工肛門又は人工膀胱を設置している状態

真皮を超える褥創の状態

点滴注射を週 3 回以上行う必要があると認められる状態